

令和5年度フードバレーとから人材育成事業 農業経営者コース「農業経営者セミナー」実施要領

フードバレーとから人材育成事業では、農畜産業を取り巻く環境の変化とその対応を通して発展していくための話題提供として、農業経営者セミナーを開催いたします。

農畜産業は様々な経営リスクを抱えているなかで、生産力向上と持続性の両立が求められています。一方で、実際の取り組みには未だ課題が多いのも事実です。本セミナーでは、農畜産業に従事する方、また関連産業に従事する方を対象に、未利用資源や堆肥の利活用はもとより、6次産業化やSDGsへの対応など「持続可能性」を主テーマとして昨今の研究と事例を紹介していきます。

1. 目的

農業者に求められる持続的農畜産業の実施に向けて課題を共有する。

2. 日程

開催日：令和6年2月1日（木）、2月7日（水）、2月15日（木）、2月21日（水）

開催時間：18:00～20:00（2月15日のみ18:00～19:30）

3. 募集人員及び受講方法

農畜産業に求められる「持続可能性」に興味がある方を対象に40名程度を募集いたします。

受講方法として、以下の2つの方法から選ぶことができます。

- ①帯広畜産大学産学連携センターにおいて対面受講
- ②Web受講（Zoom）

4. 研修内容

【農業経営者コース】

日程	講師	講演タイトル	内容
2月1日(木)	岩本 博幸 (帯広畜産大学 環境農学研究部門・ 教授)	SDGs とは何か	国連が定めるSDGs(持続可能な開発目標)の概要を理解するとともに、農畜産業の関わりについて解説
	春日 隆司 (NPO 法人森林未来 研究所・理事長)	バイオ炭の農地投入と炭素貯留クレジット	みどりの食料システム戦略におけるバイオ炭の農地施用クレジットの取り組みについて紹介
2月7日(水)	西田 武弘 (帯広畜産大学 生命・食料科学研究 部門・教授)	「循環型農畜産業」メタン発生 の抑制・未利用資源の 利用	未利用資源の飼料化に関する研究、反芻家畜から排出されるメタンに関する研究について紹介

	三宅 俊輔 (帯広畜産大学 環境農学研究部門・ 准教授)	自給飼料の確保による効果と「活かす」ための飼養管理	自給飼料の確保による経済的な効果への期待と、効果を発揮するために求められる飼養管理について解説
2月15日(木)	沼田 正俊 (足寄ひだまりファーム・代表者)	経営多角化とその一手としての6次産業化	経営多角化の必要性、6次産業化の強みと弱みから考える取り組みへの課題を、実践事例を交えて考察しましょう
2月21日(水)	宮竹 史仁 (帯広畜産大学 環境農学研究部門・ 教授)	堆肥から考える持続可能な農畜産業とは？	堆肥を使う重要性とその堆肥利用がもたらす効果、堆肥化からの温室効果ガス排出量の削減による畜産の持続可能性について解説
	植田 昌仁 (友夢牧場・ 代表取締役社長)	バイオガス発電と余剰熱の活用	循環型酪農を目指したバイオガス発電と排熱を利用したバナナ・メロン栽培の取り組みについて紹介

5. 受講料

各セミナー3,000円

なお、Zoom接続に伴う通信料は各自でご負担いただきます。

*支払方法に関しては、受講決定後に振り込み方法をご案内いたします。

6. 修了証書の交付

4回のセミナーを全て受講した方に、修了証書を発行いたします。

7. 募集期間

令和6年1月5日(金)～1月26日(金)

8. 申込方法

以下の申込フォームまたはチラシの受講申込書よりお申込みください。

申込フォームURL：<https://forms.gle/z2JwNSNemMFQNQyP7>

9. お申し込み・お問い合わせ

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

国立大学法人北海道国立大学機構帯広畜産大学 教務課社会人教育係

フードバレーとかち人材育成事業 事務局 担当：和知

TEL：0155-49-5575 E-mail：f-jinzai@obihiro.ac.jp

【個人情報の取扱いについて】

- (1) 帯広畜産大学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道国立大学機構保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- (2) お申込み時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、受講に関する連絡等の業務及び本学リカレント教育の案内等を行うためにのみ利用します。
- (3) セミナー等をより効果的にするために、講師へ所属機関・氏名を提供することがあります。